

## EAPフルサービス・メンタル訪問サービス

## 一般財団法人淳風会健康管理センター

<https://junpukai.or.jp/mental-sc/>
**職場のメンタルヘルス専門職が、一次予防から三次予防までポジティブメンタルヘルスの視点を持って個人と組織を支援します。**

提供可能エリア(可能エリアが青塗)				サービスの概要・特徴
北海道	東北	関東	甲信越	<p>淳風会メンタルサポートセンターでは、契約事業場の従業員様が会社に知られることなく利用できる「EAP（従業員支援プログラム）フルサービス」と職場のメンタルヘルスに精通した心理職が定期的に事業場を訪問する「メンタル訪問サービス」を提供しています。</p> <p>「EAPフルサービス」では、従業員および一親等内のご家族を対象に、来所・WEB・メールによる無料相談窓口（回数制限有り）を設置し、メンタルヘルス不調の早期対応を支援します。また、必要に応じて、事業場の人事労務担当者や産業保健スタッフと連携し、ご本人の問題解決を図ります。</p> <p>「メンタル訪問サービス」では、職場内での従業員からの相談対応に加え、管理職や人事担当者へのコンサルテーションも実施しています。</p> <p>両サービスは、組織のメンタルヘルス体制の整備や復職支援、クライシス発生時の支援、ストレスチェックを活用した職場環境の改善など、ポジティブメンタルヘルスの視点を持って事業場に密着した支援を展開しています。</p>
北陸	東海	近畿	中国	
四国	九州	沖縄	海外	
提供可能法人規模（◎：実績あり、○：提供可）				
50人未満	1,000人未満	10,000人未満	10,000人以上	
◎	◎	◎	-	
サービスの目的・期待される効果				
【凡例】◎：実証評価>●：理論的裏付け>○：ユーザー評価				
基盤整備	法制度対応		-	
	制度・施策体系の整理		-	
	人事・産業保健業務の効率化・負担減		-	
	組織状況の把握		-	
取組の普及・浸透	サーベイ受検率向上		-	
	相談窓口の利用率・認知率向上		○	
	プログラムへの参加率・利用率向上		-	
	不調の早期発見・対応		○	
	ヘルスリテラシー・意識向上		○	
	仕事のストレス要因低減		-	
	心理的安全性・上司のサポート力向上		-	
心の健康・業務パフォーマンス	周囲のサポート力向上		-	
	生活習慣の改善		-	
	健康状態・心理指標改善		-	
	アブセンティーズム改善		-	
	プレゼンティーズム改善		-	
	ワーク・エンゲージメント向上		-	
	従業員エンゲージメント向上		-	
	労務指標改善（離職率、残業時間等）		-	
導入企業の評価				
<p>1. 相談窓口の利用率・認知率向上について</p> <p>顧客企業向けに実施したアンケート結果によると、「従業員による相談サービスの利用のしやすさ」では、「利用しやすい」が42.9%、「まあ利用しやすい」が35.7%となり、あわせて78.6%が肯定的な評価を示しました。</p> <p>また、「メンタルヘルス担当者による相談サービスの利用のしやすさ」では、「利用しやすい」が64.3%、「まあ利用しやすい」が28.6%で、肯定的評価は92.9%にのびりました。</p> <p>これらの結果から、従業員だけでなく、メンタルヘルスご担当者にとっても当センターの相談サービスが利用しやすいと認識されており、相談窓口の認知および利用促進に一定の効果を上げていることがうかがえます。</p> <p>2. 不調の早期発見・対応について</p> <p>「サービスが事業場のメンタルヘルス対策に役立っていると思う点」について、7つの期待される効果を提示し、複数選択式で回答いただいた結果、「メンタルヘルス不調者の早期発見・早期対応」を選択した事業場が71%と、最も高い割合を占めました。この結果から、当センターのサービスが、メンタルヘルス不調の早期発見と対応に寄与している可能性があることがうかがえます。</p> <p>3. ヘルスリテラシー・意識の向上について</p> <p>上記と同様の設問において、「管理監督者のメンタルヘルスに関する知識や能力の向上」が64%、「従業員のメンタルヘルスに関する知識や能力の向上」が57%と、いずれも過半数の事業場が選択する結果となりました。</p> <p>この結果から、当センターのサービスが、職場全体のメンタルヘルスに対する理解や関心を高め、ヘルスリテラシーや意識の向上に貢献している可能性があることがうかがえます。</p>				

**EAPフルサービス・メンタル訪問サービス****一般財団法人淳風会健康管理センター**<https://junpukai.or.jp/mental-sc/>**理論的裏付け****採用している理論の概要**

特記事項無し

**実証評価****学術介入の有無**

学術研究機関等による科学的な効果検証

学術研究期間等が介在しない独自の効果検証

**エビデンスの水準**

ランダム化比較試験

非ランダム化比較試験

単純前後比較などの準  
実験的研究

コホート研究

横断研究または症例対  
照研究**実証評価の結果概要**

特記事項無し